

日本橋川清掃活動（第27回） レポート

約80名の有志により27回目の日本橋川清掃を実施しました。

今回は、日本橋小学校の六年生50名の皆さまに前半の1時間、社会科教育の一環として体験参加していただきました。日本橋から下流では普段に比べるとゴミが多くありませんでしたが、常盤橋から下流では工事で川幅が狭くなっている影響でかなりの量のゴミが滞留していました。

日時 2013年9月20日(金) 10:00~12:00

参加メンバー 主催：名橋「日本橋」保存会
日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会
常盤橋フォーラム

- ・名橋「日本橋」保存会
- ・日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会
- ・常盤橋フォーラム
- ・日本橋小学校
- ・平和不動産株式会社
- ・清水建設株式会社
- ・みらい建設工業株式会社
- ・マンダリンオリエンタルホテル東京
- ・オフィスドゥ
- ・日の丸自動車興業
- ・株式会社 三越伊勢丹
- ・三菱地所株式会社
- ・三井不動産株式会社
- ・三井共同建設コンサルタント株式会社 (順不同)

約80名の皆様
にご参加いただきました。

- ・協力：舟宿「三浦屋」(作業船提供)
東京都第一建設局
(河川清掃船によるゴミの回収作業)

【2013年の予定】

- ・~~2月22日(金)~~ 済
- ・~~4月26日(金)~~ 済
- ・~~6月14日(金)~~ 雨天中止
- ・~~7月19日(金)~~ 済
- ・~~9月20日(金)~~ 済
- ・11月15日(金)

次回は、
11月15日(金)です。
次回もご参加、よろしく
お願いいたします。



【水質調査】

気象条件等

当日の天候	晴れ、気温 26℃、降水量 0mm
直近の降雨	9月16日4時から14時にかけて合計 16.5mm
潮位・流向	183cm → 170cm、下げ潮時

水質調査結果

地点/項目	単位	目標	① 三崎橋	② 日本橋	③ 豊海橋
透明度	cm	200以上	210	150	80
COD	mg/L	5未満	8	5	5
臭気	-	1以下	2	2	2
リン酸態リン	mg/L	0.05未満	0.05	0.02	0.02
硝酸態窒素	mg/L	2未満	5.0	5.0	2.0
亜硝酸態窒素	mg/L	0.02未満	0.03	0.06	0.1
アンモニウム態窒素	mg/L	0.2未満	0.5	0.3	0.7



CODの目安

mg/L	0	0~5	5~10	10~20	20以上
評価	非常にきれい	きれい	少し汚れが入っている	かなり汚れがまっている	汚れが進んでいる

臭気目安

-	0	1	2	3	4	5
評価	無臭	やっと感知できる	弱い臭い	楽に感知できる	強い臭い	強烈な臭い

各項目の殆どが目標値を上回っていた。

臭いは全地点で弱い臭いを感じた。

※水質調査結果は簡易試験(パックテスト)によるものであり、厳密な数値を示すものではありません。

<ゴミの種類>

・ビニール袋	16	・果物	4
・空き缶	16	・カップめん容器	2
・ペットボトル	12	・その他紙類	2
・発泡スチロール	4	・台車	1
・弁当の空パック	4	・椅子	1
・紙パック	4	・流木、木の枝	多数

※数値はごみの種類の傾向を示す

- ・台風の影響で流木や木の枝が多かった
- ・ビニール袋、空き缶類が特に多く、人為的に捨てられたものが殆どであった。
- ・台車、パイプいす等粗大ごみを回収した。

<確認された生物>

- ・カモが日本橋船着場で休憩していた。
- ・亀島川水門付近及び下流でカモメを多数確認。



用語解説

【COD】 水中にある物質が酸化剤で酸化や分解される時に消費する酸素量。値が高いということは水の中に反応しやすい物質が多い。
 【リン酸態リン】(評価の目安 きれい:0.05mg/L未満、0.05~0.2mg/L:少し多い)
 樹木や水草、食べ物のかす、肥料等のリンの一つの形態。生活排水、肥料、窒素とともに富栄養化の要因となる物質。
 【硝酸態窒素】(評価の目安 少ない:1mg/L、通常1~2mg/L前後)
 アンモニア、亜硝酸が酸化されることによって生成される有機性窒素体の最終生成物が硝酸です。水道法では亜硝酸態窒素と硝酸態窒素との合計量が10mg/L以下に規制されています。
 【亜硝酸態窒素】(評価の目安 きれい:0mg/L、通常:0.02mg/L以下)
 亜硝酸値が高い川の水は、近くに汚染源があることを推定させます。亜硝酸は酸素をとる力がたいへん強いので魚の体にも大きな影響を与えます。
 【アンモニウム態窒素】(評価の目安 きれい:0.2mg/L未満、少し多い0.5mg/L以上)
 タンパク質の有機物の分解によってできる。生活排水の汚れを示す1つの目安。アンモニウム値が高いということは、生活排水、工場排水、田畑からの肥料分が流入していることが考えられます。